

旅行アプリ『NEWT(ニュート)』、 酷暑の夏に注目したい海外旅行先ランキングを発表

"避暑"だけではない、夏を快適に楽しむ海外旅行の新定番とは

株式会社令和トラベル(本社:東京都渋谷区、代表取締役:篠塚 孝哉)が運営する、かしこい、おトク、旅行アプリ『NEWT(ニュート)』は、NEWTの予約動向などの定量データから独自分析を行い、「酷暑の夏に注目したい海外旅行先ランキング」をまとめました。

日本各地で厳しい暑さが続くなか、海外旅行先にも「涼しく過ごせる」「暑さを避けながら楽しめる」といった視点が広がっています。予約動向を見ると、人気を集めているのは気温が低い避暑地だけではなく、屋内施設が充実した都市やホテル滞在を中心に楽しめるリゾートなど、暑さを避けながら快適に過ごせる旅先です。



■ 東南アジアリゾートの伸長。背景には“涼しさ”よりも“過ごし方”の変化

順位	国・エリア	予約伸び率	平均気温(8月)	避暑・快適ポイント
1位	シンガポール	+93%	28.1℃	マリーナベイやガーデンズ・バイ・ザ・ベイなど屋内型・都市型施設が多く、酷暑でも動きやすい
2位	ベトナム(ダナン)	+52%	29.3℃	ビーチリゾートとして海風を感じながら滞在しやすい

3位	インドネシア (バリ)	+88%	26.3℃	高地のウブドなど、海沿いよりも涼しく過ごしやすいエリアも選べる
4位	モルディブ	新規需要が拡大	28.7℃	水上ヴィラ滞在型で、外を歩き回らずに非日常感を楽しめる
5位	オーストラリア	+55%	14.1℃	8～9月は南半球の冬にあたり、今回のランキングで唯一「本当に涼しい」目的地

※各エリアの平均気温は「気象庁 | 世界の天候データツール (<https://www.data.jma.go.jp/cpd/monitor/climatview/frame.php>)」より取得しています。

※本ランキングは、NEWTの予約データ(伸び率)に加え、旅行の関心度を示す検索動向などのデータをもとに総合的に評価したものです。そのため、予約伸び率の順位とランキング順位は必ずしも一致しません。

今回のランキングでは、シンガポール、ダナン、バリ、モルディブといった東南アジア・インド洋のリゾート地が上位を占めました。シンガポールは前年同期比+93%、バリは同+88%、ダナンは同+52%と、いずれも予約伸び率が大きく伸長しています。いずれも日本より気温が大きく低い“避暑地”というより、暑さを前提にしながらも快適に過ごせる環境や体験が整っている点が共通しています。屋内施設、ホテル滞在、ビーチリゾート、移動距離の短い都市観光など、旅行中の体力消耗を抑えながら楽しめる旅先への関心が高まっていると考えられます。

■シンガポール:屋外をほぼ歩かずに1日過ごせる都市型リゾート



シンガポールは暑い国というイメージがありますが、実は酷暑の時期こそ楽しみやすい“屋内型観光”が充実しています。ガーデンズ・バイ・ザ・ベイのクラウド・フォレストは23～25℃に保たれた空間に高さ35mの滝があり、ジュエル・チャンギ・エアポートでは高さ40mの屋内滝を空港直結で楽しめます。さらに、常夏の国で氷点下の雪遊びができるスノー・シティもあり、暑さを避けながら、屋内外の観光・グルメ・夜景を無理なく組み合わせ、快適に都市滞在を楽しめる点がシンガポールの大きな魅力です。

▶MRTラベンダー駅すぐ！屋外プールやジム完備＆モダンなホテルで充実のシンガポール旅

4日間 ¥76,300～

※2026年7月29日時点のNEWTツアー価格(1室2名利用・おとな1名あたり・燃油込み)

MRTラベンダー駅の真上にある、アクセスのよさが魅力のホテル。館内には屋外プールやエアコン付きのフィットネスセンターが完備され、滞在中も快適な時間を過ごすことができます。観光重視でリーズナブルなホテルを選びたい方にもおすすめです。



[ツアーを詳しく見る](#)

■ベトナム(ダナン):ビーチと高原避暑を1回の旅で両取り



ベトナム・ダナンは、ビーチリゾートでありながら、酷暑時にも快適に過ごす工夫がしやすい旅先です。日中は海風を感じられるホテルやカフェでゆっくり過ごし、少し足を伸ばせば、標高約1,500mに位置するバナヒルズで高原リゾートならではの涼感を楽しめます。バナヒルズは年間を通して涼しい気候が特徴で、日中の平均気温は17～20℃程度。熱帯雨林に囲まれながらも温帯地域とも呼ばれる独特の環境で、1日の中で四季の変化を感じられるのも魅力です。巨大な手に支えられたゴールデnbrリッジや、ケーブルカーから望む山・森・海の絶景など、開放感と非日常感を味わえるスポットも充実。さらに夕方以降は、ホイアンに移動してランタン夜景を楽しむなど、時間帯やエリアを工夫しながら“涼しく楽しむ旅”を組み立てられるのがダナンの魅力です。

▶大型プールつき！ビーチフロントの魅力を堪能するホテルにステイ。直行便利用

4日間 ¥100,500～

※2026年7月31日時点のNEWTツアー価格(1室2名利用・おとな1名あたり・燃油込み)

ミーケービーチ沿いに位置する21階建てのビーチフロントホテル。海を一望する屋上の大型インフィニティプールはホテル自慢のスポット！館内はアンティークな建築とモダンなデザインがほどこされ、どこを撮っても絵になるフォトジェニックな空間が魅力です。

※こちらのホテルは18歳未満の方のみでは宿泊できません。

[ツアーを詳しく見る](#)



■ インドネシア(バリ):ビーチだけじゃない、涼を楽しめる高原リゾートも魅力



バリは南国ビーチのイメージが強い一方で、ウブドやキンタマーニなどの高原エリアでは、8月の平均最高気温が27～29℃程度、最低気温が21～23℃程度と比較的過ごしやすい気候です。緑に囲まれた森や滝など自然の中で涼を感じられるほか、プール付きヴィラやスパでゆったり過ごしたり、夕方以降にウルワツで夕景やケチャックダンスを楽しんだり、暑さを避けながら自然やウェルネス、文化体験を組み合わせられることも魅力です。

▶ビーチまで徒歩10分！ショッピング＆観光も楽しめる立地のホテルに宿泊

4日間 ¥92,300～

※2026年7月31日時点のNEWTツアー価格(1室2名利用・おとな1名あたり・燃油込み)

クタ、レギャンエリアのど真ん中に位置し、買い物や観光に便利なスタンダードホテル。ビーチも徒歩10分圏内で、気軽にビーチへアクセスできるロケーションがうれしいポイントです。ホテルにはプールもスパもありコスパばつぐん！



[ツアーを詳しく見る](#)

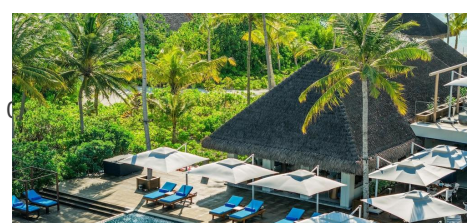
■ モルディブ: 水上ヴィラで“移動しない涼しい旅”を実現



モルディブは、気温の低い避暑地というよりも、“歩き回らずに涼しく過ごせる”リゾートとして注目できます。水上ヴィラでは部屋からそのまま海やプールへアクセスでき、海中レストランでは魚やサンゴを眺めながら食事を楽しめます。さらに、ホテルの目の前でシュノーケリングをしたり、海を眺めながらスパを受けたりと、リゾート内で完結する涼しい体験が豊富です。酷暑の夏に、あえて移動を少なくして非日常を楽しむ旅先として紹介しやすいのがモルディブです。

▶モルディブ屈指のオールインクルーシブリゾート！ビーチヴィラで過ごす優雅な時間

【お問い合わせ】株式会社令和トラベル PR担当 pr@reiwatravel.co.jp



5日間 ¥298,600～

※2026年7月29日時点のNEWTツアー価格(1室2名利用・おとな1名あたり・燃油込み)

2025年8月にオープンしたモルディブ屈指のオールインクルーシブリゾートのホテルです。ヴェラナ国際空港からスピードボート送迎があり、アクセスもらくらく。5つのダイニングやPADI5つ星認定ダイビングセンターが併設し、夢のような海中の世界を堪能できます。

[ツアーを詳しく見る](#)

■オーストラリア:南半球の冬で“本当に涼しい”目的地

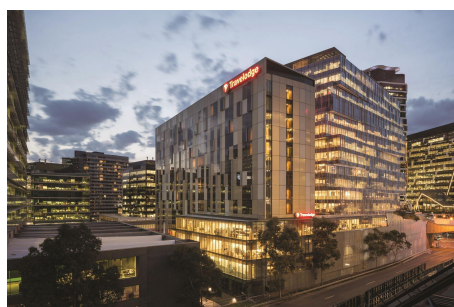


オーストラリアは南半球にあるため、日本の夏は現地では冬。8月の平均気温は肌寒さを感じる14.1℃です。今回のランキングの中でも、気候そのものが涼しい旅先として紹介しやすいのが特徴です。シドニーでは街歩きやカフェ、美術館めぐりを快適に楽しめ、少し足を伸ばせばブルーマウンテンズの絶景もあります。さらに冬ならではのホエールウォッチングや、ケアンズ・グレートバリアリーフの穏やかな海旅など、この時期だからこそ楽しめる体験が豊富です。

▶たっぷり観光を楽しめる便利＆駅チカで移動に便利なホテルでメルボルンを満喫旅

5日間 ¥131,200～

※2026年7月29日時点のNEWTツアー価格(1室2名利用・おとな1名あたり・燃油込み)



【お問い合わせ】株式会社令和トラベル PR担当 pr@reiwatravel.co.jp

ドックランズ地区に位置する、スタイリッシュなデザインのホテル。サザンクロス駅に隣接した便利なロケーションで、駅までは徒歩わずか3分でアクセスできます。各部屋には簡易キッチンが完備されており、その利便性もうれしいポイントです。

[ツアーを詳しく見る](#)

■“海外避暑”は、気温だけでなく「涼しく過ごせる体験」で選ぶ時代へ

これからの“海外避暑”は、気温の低さだけでなく、旅先でどのように涼しく、快適に過ごせるかという視点で選ぶことがポイントです。屋内施設が充実した都市型旅行、ホテル滞在を中心にしたリゾート旅行、海風を感じられるビーチ滞在など、暑さを避けながら楽しむ工夫ができる旅先として選ばれています。

NEWTでは、予約データなどから見える旅行者の関心の変化をもとに、酷暑の時期でも快適に楽しめる海外旅行の選択肢を提案してまいります。

■資料・調査データの転載について

当社から発信するコンテンツについては、以下のとおり出典元を記載の上ご利用いただくことが可能です。ご利用に際しては、問い合わせ先よりご一報ください。

出典元：旅行アプリ『NEWT(ニュート)』調べ

<調査概要>

集計データ：『NEWT』予約データなどの定量データ

対象期間：2026年8月1日～9月30日出発の予約データ(2026年7月29日までの予約分)

2025年8月1日～9月30日出発の予約データ(2025年7月29日までの予約分)

◆かしこい、おトク、旅行アプリ『NEWT(ニュート)』

web版 海外ツアー <https://newt.net/>

宿・ホテル <https://newt.net/hotel>

アプリ <https://newt.net/app>

公式LINE <https://lin.ee/ZKchfbF>

■令和トラベル 会社概要

令和トラベルは「あたらしい旅行、あらゆる人へ。」をミッションに、旅行におけるあたらしい体験や、あたらしい社会価値の提供を目指すデジタルトラベルエージェンシーです。2022年4月より、かしこい、おトク、旅行アプリ『NEWT(ニュート)』を提供しています。旅行業界における予約や管理業務のDXを最大化し、旅行というエクスペリエンスを通じた社会価値の創造に挑戦します。

名称：株式会社令和トラベル

所在地：東京都渋谷区桜丘町20-1 渋谷インフォスター15F

代表者：代表取締役 篠塚 孝哉

創業日：2021年4月5日

事業内容：旅行代理店業

登録免許：第一種旅行業(観光庁長官登録旅行業：第2123号)

所属協会：JATA(一般社団法人日本旅行業協会)正会員、IATA(国際航空運送協会)公認代理店

会社HP: <https://newt.net/company>

『NEWT』ブランドページ: <https://newt.net/brand>

公式SNS

・LINE: <https://lin.ee/ZKchfbF>

・X: https://x.com/newt_travel

・Instagram: https://www.instagram.com/newt_guide/

・Threads: https://www.threads.com/@newt_guide

・TikTok: https://www.tiktok.com/@newt_travel

・YouTube: https://www.youtube.com/@newt_travel